

令和8年度 文学部 歴史学科 学校推薦型選抜 小論文

○出題意図・評価のポイント

【出題意図】

出典は加藤喜之著「分極化する現代世界——米国、欧州、イスラエルからみる政治と宗教」（大西信行・佐藤雄基編『日本史を宗教で読みなおす』山川出版社、二〇二五年）である。出題は、「次の文章を読んで、歴史における宗教と政治との結びつきについて、具体例をあげながら八〇〇字以内で論じなさい。」である。

この課題文の内容を正確に読み取ったうえで、結論を導くための的確な具体例を挙げ、論理的に文章を構成することが求められる。現代社会における諸問題をふまえつつ、それらを歴史学と結びつけて思考しているかを問う出題である。

【評価のポイント】

評価する点は次のとおり。

- ・課題文の内容を正しく読み取れているか。
- ・自分自身の考えを導くうえで適切な具体例を挙示できているか。
- ・論理的に説明できているか。
- ・文字表記・文法・言葉の用法等、文章上の問題はないか。

以上の諸点を総合的に判断する。